

鳥取県元気づくり総合戦略（第1期総合戦略）5年間の取組結果

2015(H27)年に「鳥取県元気づくり総合戦略(第1期総合戦略)」を策定し、様々な地方創生施策に取り組んだ結果、全国に先駆けた子育て支援の充実やIJUターンの促進策等が功を奏し、移住者は毎年過去最多を更新(2010(H22)年:607人⇒2019(R1)年:2,169人)、合計特殊出生率は回復基調にある(2010(H22)年:1.57⇒2019(R1)年:1.63)などの要因から、2040(R22)年時点における将来推計人口(国立保障・人口問題研究所、2018(H30)年)は、前回推計(2013(H25)年)の44万1千人から47万2千人に3万1千人上振れるなど、着実に成果が現れてきている。

取組結果の概要

(1)基本目標

地方創生の実現に向けて掲げた9項目の基本目標(数値目標)のうち、外国人宿泊者数、IJUターン受入者数、正規雇用創出数等の5項目を達成するとともに、観光入込客数、農林水産業新規就業者数等の3項目を概ね達成した。一方、若者の県外への進学や県外への就職などにより、社会減は依然として歯止めがかかっておらず、転出超過数減少の項目は「進展しなかった」とした。

⇒進展しなかった「転出超過数」の減少について、第2期総合戦略では「15～24歳の転出超過数」を基本目標に据えるとともに、転出超過数の大半を占める若者をターゲットにした施策を充実させ、転出超過に歯止めをかけていく。

＜基本目標の達成状況＞

項目		目標値	最終実績	達成状況
自然	観光入込客数	1,100万人/年	1,013万人	進展した
	外国人宿泊者数	15万人/年	18.5万人	達成
	農林水産業新規就業者数	1,800人/5年累計	1,620人	概ね達成
絆	合計特殊出生率	1.74/年	1.63	進展した
	鳥取県未来人材育成奨学金就業者数	600人/5年累計	689人	達成
	ふれあい共生ホーム設置数	19市町村、65箇所	19市町村、72箇所	達成
時間	IJUターン受入者数	8,000人/5年累計	10,427人	達成
	正規雇用創出数	10,000人/5年累計	13,382人	達成
	転出超過数	550人/年	1,248人	進展しなかった

(2)個別の取組項目

第1期総合戦略で取り組んだ230の項目のうち、「達成」若しくは「概ね達成」が210項目となり、全体の概ね9割で取組の成果が出た。(※230項目のうち、KPI設定がある項目は169項目)

＜取組の達成状況＞

評価区分	項目数
A 達成	88
A' 概ね達成	122
B 進展した	15
C 進展しなかった	5
合計	230

210項目
91.3%

【評価方向】

①KPI設定がある項目

項目毎の5年間の取組成果を定量的・定性的に評価
(基本となる評価基準)

A(達成) : 達成率100%以上

A'(概ね達成) : 達成率80%以上

B(進展した) : 達成率50%以上80%未満

C(進展しなかった) : 達成率50%未満

②KPI設定がない項目

項目毎の5年間の取組成果を定性的に評価

⇒【進展しなかった項目(5項目)】

- ・FCV(燃料電池自動車)の普及、「グリーン水素」供給インフラの整備

[KPI]水素供給インフラ整備数 : 0(H27年度)→1(R1年度)[目標:4]

- ・年度中途の待機児童解消に向けた保育の受け皿確保

[KPI]年度中途の保育所等の待機児童数 : 89人(H26年度)→85人(R1年度)[目標:解消]

- ・男性の育児に参加する機運の醸成

- ・男性の自発的・積極的な育児休業等を喚起するための普及啓発の充実

[KPI]男性の育児休業取得率 : 3.1%(H23年度)→5.6%(H29年度)[目標:15%]

- ・介護職の認知度・イメージ向上、労働環境・処遇の改善など総合的な介護人材確保対策の実施

[KPI]県内介護職員数 : 10,873人(H27年度)→10,694人(H30年度)※R1年度 数値未確定[目標:11,220人]

⇒取組の定量的評価のために設定した重要業績評価指標(KPI)(162指標)は、87指標が「達成」、38指標

が「概ね達成」、13指標が「進展した」、21指標が「進展しなかった」という結果になった。※3指標が数値未確定

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～

■基本目標に対する評価

≪基本目標≫



- 観光入込客数(年間)は、2016(H28)年度の鳥取県中部地震及び豪雪、H30年度の7月豪雨等の度重なる災害により大きく減少した期間がありましたが、山陰海岸ジオパークの第3期認定、大山開山1,300年を契機とした観光資源の磨き上げ、地域資源を活かした体験メニューの充実や受け入れ環境の整備、国内外への積極的な情報発信等の取組により、観光客は増加・回復傾向となっています。
- 外国人宿泊客数は、国際定期便の拡充(米子ソウル便の6便化、米子香港便の3便化)等に伴い5年で大幅に増加しました。最終年度(R1年度)は、米子ソウル便等の運休、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、過去最高を記録した2018年(H30)年度は下回る結果となりました。
- 農林水産業新規就業者数は、景気回復に伴い他産業の求人率の向上の影響があったものの、新規就業者の受入環境の整備、「スーパー農林水産業士」制度をはじめとした人材育成の強化等の取組を進めたことにより新規就業者は着実に増加し、目標を概ね達成しました。

■個別評価(主な項目)

≪項目達成状況≫

		A		A'		B		C		項目数計
		項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	
		90.2%								
自然	観光・交流	6	23.1%	19	73.1%	1	3.8%	0	0%	26
	農林水産	12	28.6%	25	59.5%	5	11.9%	0	0%	42
	エコスタイル	5	35.7%	7	50.0%	1	7.1%	1	7.1%	14
計		23	28.0%	51	62.2%	7	8.5%	1	1.2%	82

①観光・交流

≪多様な観光資源を活かした戦略的な観光立県≫

・「とっとりロングトレイルコース」の誕生や白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース等のサイクリングルートの整備、ジャマイカ代表チーム等の東京五輪事前キャンプ誘致、2018(H30)年9月に全日本マスターズ陸上選手権大会(鳥取市)、2019(R1)年6月～7月にセーリング「2019レーザ一級世界選手権大会」(境港市)等のスポーツイベント開催など、スポーツを通じた観光・交流を実施しました。

[主なKPI: スポーツイベント・キャンプ地誘致件数 実績(R1) 31件(5年間累計)【達成】(目標(R1) 25件)]

・山陰海岸ジオパークは、2019(H31)年度にユネスコ世界ジオパークの再認定を受けるとともに、推進協議会及び構成府県市町村が連携・協力しながら「山陰海岸ジオパークトレイルコース」を設定、山陰海岸ジオパークの中核拠点施設のひとつである「山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」に山陰海岸の岩石を展示・学習する庭園を整備するなど、環境整備及び施設の機能強化を図りました。更には、地元ガイドの人材育成とアクティビティ体験者に対してジオパークの魅力発信等を行い、評価指標であるジオパークエリアのアクティビティ参加者数は目標を達成しました。

[主なKPI: ジオパークエリアにおけるアクティビティ年間参加者数実績(R1) 6,339人【達成】(目標(R1) 5,000人)]

・祝日「山の日」の制定に合わせてイベント等を実施し自然の魅力の発信・PRを行うとともに、大山・三徳山などの自然歩道や登山道、自然公園施設等の受入環境の充実を図りました。評価指標である県立拠点施設における自然体験プログラム年間利用者数は目標を達成しました。

[主なKPI: 自然体験プログラム年間利用者数(県立拠点施設) 実績(R1) 39,889人【達成】(目標(R1) 25,000人)]

・星取県や蟹取県の取組をはじめ、鳥取県の認知度を高めるイメージ発信を行うなど、SNS等の広報媒体を効果的に活用した戦略的な情報発信を行うとともに、「トワイライトエクスプレス瑞風」、「あめつち」といったJR西日本が運行する観光列車や、若桜鉄道「昭和」、智頭急行「あまつぼし」などを活用し、「鳥鉄の旅」として新たな旅の提案を行うなど、

様々な角度からの誘客により、観光客の増加につながる結果となりました。

《外国人が憧れる鳥取》

・米子ソウル便の増便、米子香港便・米子上海便の新規就航、国際チャーター便やクルーズ船の運航を通じて、外国人誘客を図るとともに、関西広域連合の枠組みのもと、周辺県やJR西日本などとの広域連携による情報発信や共同プロモーションを実施し、評価指標である外国人観光客宿泊数は堅調に推移し目標を達成しました。

[主な KPI:外国人宿泊客数(年間) 実績(R1) 18.5万人【達成】(目標(R1) 15万人)]

・主要駅、空港等の交通拠点に外国人観光案内所を設置するとともに、民間事業者の案内表示・ホームページの多言語化、主要観光施設への無料公衆無線LANの設置(無線LANカバー率の目標を概ね達成)など、外国人観光客の受入環境の充実を図るとともに、タクシー・バス等の観光2次交通への支援を行い県内周遊の促進を図りました。

[主な KPI:主要観光施設の無料公衆無線LANカバー率 実績(R1) 88.9%【概ね達成】(目標(R1) 90%)]

《広域連携による観光誘客の促進》

・鳥取県内に、「麒麟のまち観光局」、「鳥取中部観光推進機構」、「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」が設立され、受入体制整備や観光コンテンツづくり等の取組が進みました。また、山陰海岸ジオパーク推進協議会や関西広域連合等の広域連携による観光周遊事業及び情報発信等の取組を行い、本県の認知度向上及び誘客促進に繋がりました。

[主な KPI:DMO 設置数 実績(R1) 3団体【進展した】(目標(R1) 東・中・西部各1団体及び山陰圏域1団体)]

②農林水産

《将来を担う若き担い手の活躍》

・農林水産業を学ぶ高校生を対象に「スーパー農林水産業士」認証制度を創設して、本県の農林水産業を支える人材育成を強化したところ、認定した生徒の中には鳥取大学農学部に進学するなど高大連携が図られ、地域の若者が地域で就農・就業に向かう新たなキャリアパスを構築しました。

・産地が主体的に新規就農者の受入体制を整え、産地の後継者を育成取組に対して支援するとともに、漁業の新規就業者確保に向けた研修、新たな雇用の場を確保するための支援(代船建造支援、養殖場建設支援等)の充実により、評価指標である農林水産新規就業者数は順調に推移し、目標を概ね達成しました。

[主な KPI:農林水産業新規就業者数 実績(R1) 1,620人(5年間累計)【概ね達成】(目標(R1) 1,800人)]

《農林水産業の活力増進》

・畜産分野においては、第11回全国和牛能力共進会宮城大会で鳥取和牛が肉質日本一を獲得し、県内和子牛県平均セリ価格は高水準となったほか、畜産経営のさらなる競争力強化を図るため、国の畜産クラスター事業を活用した牛舎整備や繁殖雌牛の増頭等により、生産基盤の基盤強化、収益向上につながり、評価指標である和牛繁殖雌牛頭数も目標を達成しました。

[主な KPI:和牛繁殖雌牛頭数 実績(R1) 4,089頭【達成】(目標(R1) 3,900頭)]

・農業所得の向上に繋げるため、園芸分野において、鳥取型低コストハウス導入を戦略的に進めるとともに、出荷調整機器や共同利用施設の整備を行うなど基盤強化を図り、評価指標である農業産出額も概ね目標を達成しました。

[主な KPI:農業産出額 実績(H30) 743億円【概ね達成】(目標(R1) 800億円)]

《豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成》

・国際認証の取得支援、販路開拓、マッチングなど事業者への支援を充実させてことにより、輸出に取り組む事業者数は順調に増加し、評価指標である農林水産物及び加工品の年間輸出額は目標を達成しました。

[主な KPI:農林水産物及び加工品の年間輸出額 実績(R1) 18.7億円【達成】(目標(R1) 8.0億円)]

・農林漁業者や食品加工業者の取組状況に応じた支援、商品企画から販売までのスキルアップの取組により、6次産業化に必要な基盤づくりが進み、評価指標である6次産業化事業及び農商工連携事業の取組累計数の目標を達成しました。

[主な KPI:6次産業化事業及び農商工連携事業の取組累計数 実績(R1) 297件【達成】(目標(R1) 280件)]

③エコスタイル

《豊かな森や里山資源の活用》

・保育所・幼稚園等が行う自然保育を認証する取組が進むとともに、「とっとり共生の森」参画企業が、森林保全活動を継続して実施するなど、自然の魅力を満喫し、癒やしの地域づくりが進みました。また、とっとり共生の森参画企業等、評価指標も概ね達成しました。

[主な KPI:とっとり共生の森参画企業数 実績(R1) 19企業【概ね達成】(目標(R1) 23企業)]

《次世代エネルギーの推進》

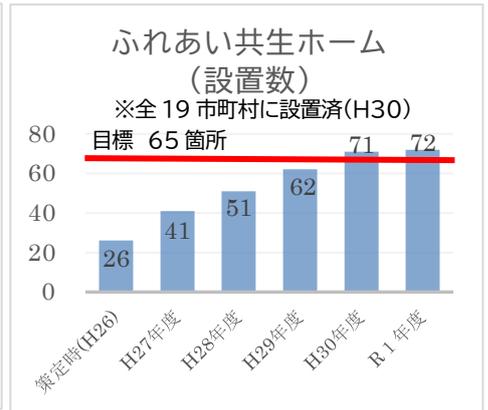
・再生可能エネルギーの導入量は、「第2期とっとり環境イニシアティブプラン」で定める目標を達成したほか、エネルギーの地産地消が進むなど、環境にやさしい地域づくりが進み、再生可能エネルギー導入量等、評価指標の目標を達成しました。

[主な KPI:再生可能エネルギー導入量 実績(R1) 1,028MW【達成】(目標(R1) 980MW)]

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む ～鳥取＋住む～

■基本目標に対する評価

≪基本目標≫



- 合計特殊出生率については、小児医療費助成や保育料の無償化など、他県に先駆けた子育て支援策により全国でも上位の水準にありますが、近年は横ばい状態となっています。
- 鳥取県未来人材育成奨学金助成者数については、奨学金支援助成金の対象業種に農林水産業等を、対象者に専門学校生を追加するとともに、大学1年生から認定申請を認めるなど利用者の観点から制度を見直した結果、認定者数、就職者数ともに順調に推移し、目標を達成しました。
- ふれあい共生ホームの設置については、2018(H30)年度に9箇所増加するとともに、4町で共生ホームが新規設置され、1年度前倒しでH30年度に目標を達成しました。

■個別評価(主な項目)

≪項目達成状況≫

		A		A'		B		C		項目数計
		項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	
絆	出会い・子育て	10	37.0%	13	48.1%	1	3.7%	3	11.1%	27
	人財とっとり	15	34.1%	22	50.0%	6	13.6%	1	2.3%	44
	支え愛	10	55.6%	8	44.4%	0	0%	0	0%	18
計		36	39.3%	42	48.3%	7	7.9%	4	4.5%	89

①出会い・子育て

≪若者の出会い・結婚の希望を叶える≫

・鳥根県と連携し、婚活イベントメール配信システムを統合等、広域的な出会いの場の創出に取り組み、評価指標である出会いのイベントの開催数は目標を達成しました。

[主なKPI: 出会いイベントの開催数 実績(R1) 271回【達成】(目標(R1) 250回)]

・2015(H27)年12月に設置した「とっとり出会いサポートセンター えんトリー」による結婚希望者同士のマッチングでは、情報発信、出会いの場づくりなどの取組により、結婚希望者のマッチングが順調に進みました。

[主なKPI: えんトリーによる成婚数 実績(R1) 115組(うち会員同士 56組)【達成】(目標(R1) 80組(うち会員同士 40組))]

≪安心の出産・子育てを応援する≫

・2016(H28)年度に「不妊専門相談センター」を西部地域に設置するなど、全県的な相談支援体制の整備を進め、子育て世代包括支援センターが県内全市町村に設置されたほか、評価指標である子育てしやすい環境づくりを実施する家庭教育推進協力企業数が目標を達成しました。

[主なKPI: 家庭教育推進協力企業数 実績(R1) 780社【達成】(目標(R1) 700社)]

・保育ニーズに対応すべく、待機児童解消に向けた取組を推進していますが、解消には至っておらず、保育人材の不足も依然改善されていない状況にあります。

≪地域で子育てを支える≫

・学校支援ボランティアについては、県内小学校の94%、中学校の61%で実施されており、学習支援・学校整備、登下校の見守り等子どもたちの学校・地域での生活を支える学校支援の取組に加え、地域課題解決型学習や職場体験、地域と協働した防災訓練など、学校と地域が目標を共有して行う「地域学校協働活動」が進むなど、評価指標である学校支援ボランティアの数も概ね目標を達成しました。

[主なKPI: 学校支援ボランティアの数 実績(R1) 8,171人【概ね達成】(目標(R1) 9,000人)]

・県内19市町村で生活困窮世帯等の児童生徒への学習支援が実施され、こども食堂等に取り組む団体や支援機関に

よるネットワークへの活動支援等により子ども食堂を含む子どもの居場所が増加したほか、評価指標である子どもの貧困対策としての子ども居場所の数等、目標も達成しました。

[主な KPI:子どもの貧困対策としての子どもの居場所の数 実績(R1) 51 箇所【達成】(目標(R1) 30 箇所)]

《子育て・介護など、家庭と仕事が両立できる環境づくり》

・社会保険労務士の派遣、研修会の実施等、企業の職場環境づくりの取組を支援した結果、企業の就業環境改善に向けた取組が進み、評価指標である男女共同参画推進企業認定数等、評価指標の目標を達成しました。

[主な KPI:男女共同参画推進企業認定数 実績(R1) 817 社【達成】(目標(R1) 700 社)]

・家庭教育の充実に向けた職場環境づくりに自主的に取り組んでいただける企業と鳥取県教育委員会とが協定を結び、企業と連携した子育てしやすい環境づくりを実施し、評価指標である家庭教育推進協力企業について、目標を達成しました。

[主な KPI:家庭教育推進協力企業数 実績(R1) 780 社【達成】(目標(R1) 700 社)]

②人財とっとり

《未来を拓く人づくり》

・地域学校協働活動(放課後・土曜日を活用した学習支援、学校支援ボランティア活動などの地域と学校が連携・協働して行う活動)に係る研修会を実施し、活動内容の充実を図るとともに、ホームページで各市町村の取組状況について情報発信を行うなど、土曜日における教育活動の充実を図るための地域の特色を生かした取組が進み、全 19 市町村で学習支援が行われました。

[主な KPI:放課後や土曜日を活用して学習支援を行う市町村数 実績(R1) 19 市町村【達成】(目標(R1)19 市町村)]

《地域を支える人財の育成》

・奨学金の貸与等により、地域医療を支える医療従事者の確保が順調に進み、評価指標である医療従事者の新規正規雇用者数について、看護師・理学療法士については目標を達成するとともに、医師についても概ね達成しました。

[主な KPI:医療従事者の新規正規雇用者数(看護師) 実績(R1) 1,163 人(5 年間累計)【達成】(目標(R1) 700 人)]

・大学や企業等と連携したインターンシップの周知や参加機運醸成等により、インターンシップ参加学生は年々増加し、評価指標である県内企業へのインターンシップ参加者数の目標を達成しました。

[主な KPI:大学生の県内企業インターンシップ参加者数 実績(R1) 426 人【達成】(目標(R1) 400 人)]

・介護人材の不足が続いており、その解消と労働環境・処遇改善が課題となっています。

[主な KPI:県内介護職員数 実績(R1)(数値未確定) ※直近(H30)実績 10,694 人(目標(R1) 11,220 人)]

《グローバルな高度人材の育成》

・産業人材の育成に関して H27 年度より戦略産業雇用創造プロジェクトを実施し、求職者に対して企業が求めるスキルの習得を支援することにより、同プロジェクトの参加企業を中心に採用が進み、評価指標は目標を大幅に達成しました。

[主な KPI:グローバルな高度技能者の育成人数 実績(R1) 676 人(4 年間累計)【達成】(目標(R1) 480 人)]

《「顔の見えるネットワーク」を活かした地域づくり》

・令和新時代創造県民運動(2019(R1)年度～)(旧:トトリリズム県民運動。以下同じ。)の実践団体は、登録目標数が 460 団体であるところ、468 団体が登録し、評価指標の目標を達成しました。多様な主体が取り組む地方創生に繋がる様々な取組を支援することで、幅広い年代の多くの主体により令和新時代創造県民運動が拡大・展開されました。

[主な KPI:令和新時代創造県民運動実践団体登録数 実績(R1) 468 団体【達成】(目標(R1) 460 団体)]

《女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくり》

・高齢者の就業促進に向けて、シニアバンクの周知や、県立ハローワークにおける相談支援により、評価指標であるシニアバンクへの延べ登録者数及び活動率等、目標を達成しました。

[主な KPI:とっとりいきいきシニアバンクへの延べ登録者数 実績(R1) 4,741 人【達成】(目標(R1) 2,000 人)]

③支え愛

《鳥取ならではの「防災文化づくり》

・「支え愛マップづくり」を通じて明らかになった地域課題に対し、避難時の支援方法・体制の見直し、また過年度に行った取組の見直しが行われるなど、マップづくりに留まらない支え愛活動に繋がるとともに、防災士養成研修や避難所運営をテーマとした研修を通じて、地域防災リーダーや避難所運営リーダーを継続して養成することができました。

[主な KPI:支え愛マップづくり取組自治会数 実績(R1) 604 箇所【達成】(目標(R1) 600 箇所)]

《人と人の絆を力に安心の暮らしをつくる》

・2017(H29)年にあいサポート条例を制定し、県民運動として位置付けたあいサポート運動について、研修会等を開催し、あいサポーターを多数養成しました。また、あいサポート運動の協定を締結し、連携は 7 県 13 市 5 町に拡大、あいサポーター数は評価指標の目標を大幅に超える数を達成しました。

[主な KPI:あいサポーター数 実績(R1) 544,116 人【達成】(目標(R1) 410,000 人)]

・地域の遊休施設等を活用して、介護予防、機能訓練、健康づくりのほか食事、買い物など地域の暮らしを支える様々なサービスの提供や世代間交流等の拠点となる小さな拠点の整備が進み、評価指標の目標を達成しました。

[主な KPI:道の駅や遊休施設等を活用した「小さな拠点」の数 実績(R1) 30 箇所【達成】(目標(R1) 30 箇所)]

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ ～鳥取+rhythm～

■基本目標に対する評価

≪基本目標≫



○IJUターンの受入者数については、きめ細かな相談体制の構築や首都圏での移住セミナーの充実等により順調に増加し、過去最多を更新し、目標を達成しました。

○正規雇用創出数については、有効求人倍率が高水準を維持して人材不足が顕著となり、人材確保のための正規雇用への転換が加速し、目標を達成しました。

○10代・20代の転出超過数は増加し、社会減が拡大する結果となりました。

■個別評価(主な項目)

≪項目達成状況≫

		A		A'		B		C		項目数計
		項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	
時	移住定住	8	50.0%	7	43.8%	1	6.3%	0	0%	16
	働く場	12	48.0%	13	52.0%	0	0%	0	0%	25
	まちづくり	10	55.6%	8	44.4%	0	0%	0	0%	18
計		30	50.8%	28	47.5%	1	1.7%	0	0.0%	59

①移住・定住

≪「移り住みたい」鳥取県≫

・市町村や地域団体などと連携しながら移住者に寄り添った受入施策を進めるとともに、住まい、仕事、子育て等に係るワンストップ相談窓口「鳥取県移住定住サポートセンター」の運営、各分野に係る支援窓口、支援施策等を一冊で紹介する「鳥取県来県暮らし」やSNS等の活用により情報発信を充実させたことにより、R1年度に本県への移住者が過去最高となるなど、評価指標であるIJUターン受入者数の累計で目標を達成しました。

[主なKPI:IJUターンの受入者数 実績(R1) 10,427人(5年間累計)【達成】(目標(R1) 8,000人)]

≪「住み続けたい」、「帰りたい」鳥取県≫

・産学官金労言で構成する「来んさいな住んでみないやとっとり県民会議」と連携して、IJUターンを促す動画を作成し、テレビCMやインターネットでの動画配信、大学等に設置されたデジタルサイネージの放映などにより情報発信を強化し、評価指標であるUターン情報の受信者数は目標を大幅に超える結果となりました。

[主なKPI:Uターン情報の受信者数(SNSなど) 実績(R1) 3,498人【達成】(目標(R1) 1,500人)]

②働く場

≪鳥取県産業の特徴を活かした正規雇用の場の拡大≫

・県独自の経営革新支援制度によって、県内企業が行う新事業展開・生産性向上に向けた研究・技術開発の支援、雇用や設備投資を支援し、評価指標の目標を超える数の企業が経営革新に取り組みました。

[主なKPI:経営革新認定企業数実績(R1) 1,217件(5年間累計)【達成】(目標(R1) 1,200件)]

・事業継続に課題を抱える中小企業に対して、相談体制の強化、マッチング等の事業承継支援を行い、評価指標である事業承継の成約件数は目標を達成しました。

[主なKPI:事業承継の成約件数 実績(R1) 59件(3年間累計)【達成】(目標(R1) 30件)]

《非正規から正規雇用への転換による雇用の質の改善》

・2015(H27)年度より実施した正規雇用1万人チャレンジにおいて、県内企業の新規事業・投資支援等を通して正規雇用の拡大を支援し、評価指標である非正規から正規雇用の転換者数の目標を達成しました。

[主なKPI:非正規から正規雇用の転換者数 実績(R1) 2,146人(5年間累計)【達成】(目標(R1) 1,000人)]

《戦略的産業人材の育成・確保》

・2019(R1)年度に設置した産業人材育成強化会議を設置し、産業人材育成強化方針を策定するとともに、全分野に共通する課題と分野ごとの課題について調査検討し、それぞれ育成強化の方向性と強化策を検討。その中で、戦略的推進分野として観光分野を選定し、産業人材育成センター米子校に離職者を対象とした委託職業訓練を実施する「観光人材養成科」を設置しました。(定員20名を上回る34名の応募があり、修了者18名のうち16名が就職)

《医療機器産業など新たな成長産業の創出と伝統産業の育成》

・「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」の会員が増加し、県内企業と医療者、(公財)鳥取県産業振興機構、鳥取大学医学部附属病院との連携が図られ、フェイスシールドなどの医療用具、医療機器、介護用品の開発が進んでおり、評価指標である県内の医療機器参入企業数は2019(R1)年度末で74社にのぼり、目標の40社を超えて目標を達成しました。

[主なKPI:医療機器産業への新規参入企業数 実績(R1) 74社(5年間累計)【達成】(目標(R1) 40社)]

《国内外への商圏拡大に向けた支援》

・国内外の需要獲得に向けて、展示会・商談会への出展を重点的に支援し、5年間で評価指標の目標を大きく上回る新規取引に結びつけることができました。

[主なKPI:専門展示会・商談会・拠点確保支援による新規取引件数 実績(R1) 1,028件【達成】(目標(R1) 550件)]

・山陰自動車道「鳥取西道路」において、鳥取西IC～青谷IC間が、2019(R1)年5月に開通し、評価指標である県内高速道路ネットワークの共用率の目標を達成しました。また、山陰道「北条道路」が本格的に工事着手されるなど、地方経済への波及効果が期待される高速道路ネットワークの整備が進みました。

[主なKPI:県内高速道路ネットワークの共用率 実績(R1) 75.8%【達成】(目標(R1) 63%)]

《自らの能力が発揮できる働き方改革の実現》

・2018(H30)年6月に県立ハローワークを全県展開し、担当者制による相談重視型の支援を行うことにより、求人・求職者のマッチングに取り組み、若者・女性・ミドルシニアの活躍を支援しました。

③まちづくり

《暮らしやすく、元気になるまちづくり》

・鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港では、増便による利便性向上等により、利用者が順調に伸びました。倉吉駅北街路の整備も順調に進んでいるほか、竹内南地区貨客船ターミナルの2020(R2)年度春の供用開始に向けて順調に進捗しているなど、交通の結節点を拠点とする地域のにぎわいづくりが進みました。

[主なKPI:鳥取砂丘コナン空港利用客数(一般来場者含む) 実績(R1) 800,628人【達成】(目標(R1) 460,000人)、
米子鬼太郎空港利用客数 実績(R1) 638,342人【概ね達成】(目標(R1) 650,000人)]

《アート・文化による地域づくり》

・美術館の整備について、2015(H27)年度から専門家や県民の意見を踏まえ、基本構想(H29年3月)や基本計画(H30年7月)を策定、美術館等協力連携推進委員会及び専門部会を開催し、美術館・博物館等ネットワークの強化推進に向けた取組や、県民とともに編集発行するフリーペーパー「Passme!」を発行し、美術館の取組に対する県民への周知等に取り組みました。

・「因幡・但馬の麒麟獅子舞」が2020(R2)年3月に国重要無形民俗文化財に指定されるなど、地域や市町村等と連携しながら文化芸術による地域活性化に取り組み、アート・文化による地域づくりを進めていく基盤体制の強化や、地域の気運醸成を図りました。

[主なKPI:伝統芸能活動・行事を活用した鑑賞・体験ツアー等の件数 実績(R1) 16件(5年間累計)【達成】(目標(R1) 15件)]

《快適な通信環境で便利・安心な暮らし》

・全市町村で、県民生活の基盤となる光ファイバー等による超高速情報通信網が利用できる環境整備を進め、2017(H29)年度に全19市町村で超高速情報通信網が利用できる環境が整いました。

[主なKPI:超高速情報通信網整備市町村数 実績(R1) 19市町村【達成】(目標(R1) 19市町村)]